

土木学会 コンクリート委員会  
平成 26 年度 第 1 回規準関連小委員会議事録（案）

1. 日時および会場：2014 年 11 月 11 日（水）15:00-17:00、土木学会 C 会議室
2. 出席予定（敬称略）：  
久田委員長，横関幹事長，上野，内田，蔵重，森
3. 配布資料
  - 1-0 議事次第
  - 1-1 委員構成
  - 1-2 委員会活動状況
    - 1-3-1 各委員からの意見（蔵重委員，皆川委員，日比野委員，片平委員，椿委員）
    - 1-3-2 示方書連絡調整小委員会 WG3（施工編＋規準編）の活動状況（国枝/日比野委員）
    - 1-3-3 日本コンクリート工学会規準・指針の制定／改正に関する規定（皆川委員）
    - 1-3-4 硬化コンクリート WG（横関）
  - 1-4 示方書の出版形態についての問題点のまとめ（久田）

4. 議事

(1)委員長挨拶

- ・発行部数，内容など規準編は今のままでよいのかといった議論が持ち上がっている。
- ・二羽先生より時間がかかってもよいのでしっかり議論してほしいとの意見をいただいている。
- ・従来のような，規準編の間違い探しといった非生産的な委員会とはしたくない。
- ・年度末までに，内容（必要な規準），出版関係（電子化，英文化など）の方針を定めたい。
- ・ISO や規準の間合せの対応は今迄どおり，ISO（JCI→岩波常任委員会幹事長→常任委員会→当委員会→WG），間合せ対応（富田さん→委員長・幹事長→必要に応じて WG）とする。

(2)委員紹介

- ・本 WG では，現行の 13 名で活動する。
- ・経済産業省の委員については当面なしとする。
- ・ホームページについては，上野先生に今までどおりお願いすることとし，当面，委員会の活動報告，委員構成，議事録などのアップデートをしていただく。

### (3)次回改定版作成のための方針（久田，各位）

各委員からの意見を取りまとめると以下のとおり

#### ■基準編の内容について

- ・示方書（設計編，施工編，維持管理編，ダムコンクリート編）との連携強化。
  - 新示方書に対応すべきであるが，同時並行では改定が難しい。
  - 各示方書との連関について蔵重委員がマトリクスを整理する。
- ・試験体作成，試験法，評価といった試験の流れを明確にすべき。
- ・関連規準との整合（JASS5，JIS，ISO，アジアモデルコードなど）や必要な関連規準の掲載を検討する。
  - ISO は検討されていないが，過去に BS は掲載不可と言われた経緯がある。
  - コンクリート常任委員会に判断を委ねる
- ・JIS などの規格のない新材料を使用する場合の規準が必要。
- ・廃止する規準も検討すべき。
- ・製造プロセスよりも，完成品の性能などの評価ができる規準が必要。
- ・フライアッシュの用途として，地盤材料や砂代替の規準が必要ではないか。
- ・ローカルルールの規準化が必要ではないか（ex.空気量，フライアッシュなど）。
- ・放射性廃棄物関連，原子力関連の規準がない。
  - 一部は原子力学会や建築学会に存在する。
- ・非鉄スラグ，製鋼スラグなどの規準がない。

#### ■規準編の出版について

- ・電子化の検討が必要である
  - 示方書全体として議論すべきであるが，規準編としては電子化した場合 JIS が掲載できなくなる。
- ・英文化について
  - 示方書が英文化を指向している以上，規準編も英文化しないわけにはいかない。
  - 他国が行っているような ISO などの戦略を考える必要がある。
- ・出版費について
  - JIS や NDIS の掲載料が高くなっており収支を圧迫しているのであれば，規準編の価格を見直すこともあり得る
  - 電子化すれば，タイトルのみ掲載して Web でのリンクでも良いのでは。

#### ■その他

- ・規準編の役割や本委員会のあり方に関する議論を踏まえた中長期的な活動方針の策定。
- ・資料 1-3-3 に示すように，JCI では 3 章にあるように規準，指針の改正手順が示されて

おり、土木学会としてもこのような方針を作るべき。

→複合構造委員会や鋼構造委員会の規準も含めたものが本来土木学会規準、現在のものは、本来ならば土木学会コンクリート規準ではないか。

→今後検討する。

- ・ 3種委員会や他の団体からの要望があれば、規準関連小委員会の中にWGを設置し、原案を持ってきていただき土木学会規準化を検討する。
- ・ WG構成を見直すことも視野に検討を行う（ex.設計，施工，維持管理，ダムWG）。
- ・ 改定時期については従来の2年ではなく、他の示方書に併せて5年程度がよい。  
→現状のスケジュールでは、既存の規準の見直しなどで手一杯。一方、タイムリーな規準の提供という目的が課題として挙げられるが、論文集やwebなどで対応可能。

#### (4)旧WGでの活動状況など（各位）

- ・ 活動報告があったものは以下のとおり。  
硬化コンクリートWG：読者からの問合せに回答。

### 5. 次回委員会と今後のスケジュール

#### (1)次回委員会

1月23, 27, 29日 15:00～17:00 で日程調整

議題：常任委員会に諮る規準編の課題整理・対応方法のたたき台を討議

#### (2)今後のスケジュール

- ・ 1月末：第二回委員会  
規準編の課題，対応方法議論
- ・ 3/13：常任委員会で意見聴取  
規準関連小委員会からの提言
- ・ 4～5月：第三回委員会  
常任委員会意見を踏まえた規準編の今後の対応方針まとめ  
新体制を含めた次期委員会方針議論
- ・ その後，2年×2期程度の委員会を経て次期示方書改定に合わせて規準編を改定する。